



「自分らしく」～より良いコミュニケーションの取り方について～

都島区社会福祉協議会講演会に講師派遣しました。

(2016・11・29)

## Index

- とびらの写真(講師派遣) 1
- 巻頭言 「プラボー」(鈴木登喜子) 2
- APIS 報告 人権擁護委員研修 ワークショップでDV (山田悦子) 3
- APIS 報告 傾聴ボランティア養成講座(横山・佐々木) 4
- APIS 報告 地域福祉活動支援講座「自分らしく」(朴 宗荀) 5
- APIS 報告 子どもの権利条約フォーラム2016 in 関西 (横山恵子) 5
- 会員からの報告 日本子ども虐待防止学会 第22回学術集會おおさか大会 (池田美とり) 6
- 映画 「子の世界の片隅に」 (後藤真幸) 7
- 活動記録 8



この秋は講師派遣の依頼が重なりました。  
講師陣として参加したスタッフが報告します。

その1

## 平成28年度人権擁護委員研修

### 「ワークショップでDV(ドメスティックバイオレンス)」

日時：2016年10月28日 10時～12時

場所：大阪法務局



今年も人権擁護委員研修の講師として法務局に行ってきました。近畿圏内からの参加者が40名ほど集まり、グループで話してたくさんの意見交換をした2時間でした。

まずは、DVに関するクイズから始まりました。DVかな? どうか? というきわどい出題に〇×で答えてもらいます。参加者の意見が一致するものもあれば、二つに意見が分かれてしまう問題もありました。皆さんがDVに関して持っておられるアンテナ・知識を総動員してあれこれ迷ってしまいました。次に人権や暴力・ドメスティックバイオレンスの知識について話し、現時点での関連するデータや資料についても目を通してもらいました。少し休憩を入れて、グループワークを行いました。実際の場面「このような相談を受けた時あなたならどうしますか?」で持っている知識をどう活かしていくかをじっくり考えました。熱心に話し合いが行われ、他の参加者の考えを聞いておられました。自分が思いつかなかった考えもあったと思います。意見を交換することで何かあった時の対応の選択肢を広げていただけたのでは・・・と思っています。

研修に参加して、人権擁護委員さんの年齢層はなかなか「若くなつたなあ」とはいきませんが、参加者の意識の持ち方はずいぶん変わってこられたなあと思います。いろいろな研修に行っていると「こんなまでDVって言われたら、ワシ普段やってるやん!」のつぶやきが聞こえてきたりする時があるのですが、今回は皆さん前向きでした。じわじわと意識が変わってきたことを実感した今回の研修でした。



(山田悦子)

その2

## 傾聴ボランティア養成講座

日時：2016年10月22日・29日 13時～16時

場所：ふれあいセンター都島（都島区社会福祉協議会） 3階第2会議室



都島区社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターのボランティア・アドバイザーになり、毎月の連絡会に参加するようになったご縁で、傾聴ボランティアグループ「TOMO」の養成講座を担当することになりました。2日間計6時間でどのような内容の講座にするのか、社協担当職員の方と「TOMO」メンバーと共に相談・準備をして臨みました。

